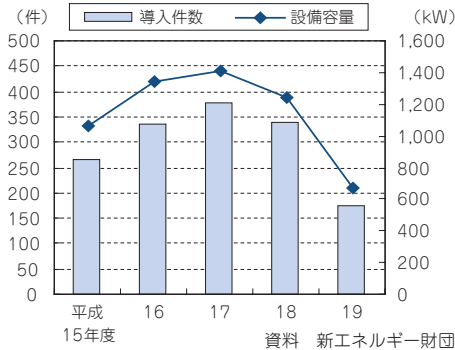
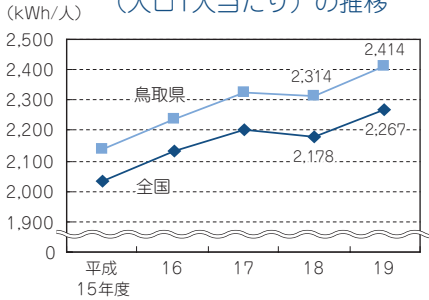


住宅用太陽光発電導入件数
及び設備容量の推移



※平成16年度までは住宅用太陽光発電導入補助促進事業実績、平成17年度以降は太陽電池メーカー11社の販売実績による。

使用電力量（電灯）
（人口1人当たり）の推移



資料 電気事業連合会「電気事業便覧」、中国電力株式会社
総務省「国勢調査」、「人口推計」

（電 気）

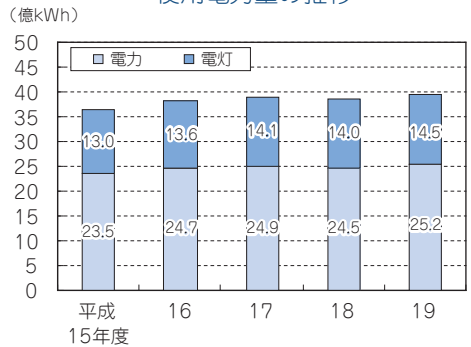
平成15年度から平成19年度までの新工ネルギー財団の資料による住宅用太陽光発電導入件数及び設備容量の推移を見ると、平成18年度以降は減少傾向となっています。

一方、人口1人当たりの使用電力量（電灯）の推移を見ると、全国より高い水準で増加が続き、平成19年度は、前年比100kWh増加の2,414kWhとなっています。

（水 道）

平成14年から平成18年までの水道統計による水道普及状況を見ると、普及率は97.2%で、4年前の平成14年と比べ、0.6ポイントの上昇となっています。

使用電力量の推移



水道普及状況（各年3月末）

単位：所・人

年・区分		上水道	簡易水道	専用水道	計	普及率
平成14年	施設数	19	251	30	300	—
	給水人口	473,296	120,955	5,288	599,539	96.6%
平成15年	施設数	20	248	33	301	—
	給水人口	479,614	115,002	5,230	599,846	96.7%
平成16年	施設数	20	245	37	302	—
	給水人口	480,586	114,974	4,932	600,492	97.0%
平成17年	施設数	15	213	34	262	—
	給水人口	489,582	105,405	4,748	599,735	97.2%
平成18年	施設数	14	206	35	255	—
	給水人口	487,450	104,212	4,961	596,623	97.2%

注）普及率は、住民基本台帳に対する割合である。

資料 県水・大気環境課「水道統計」